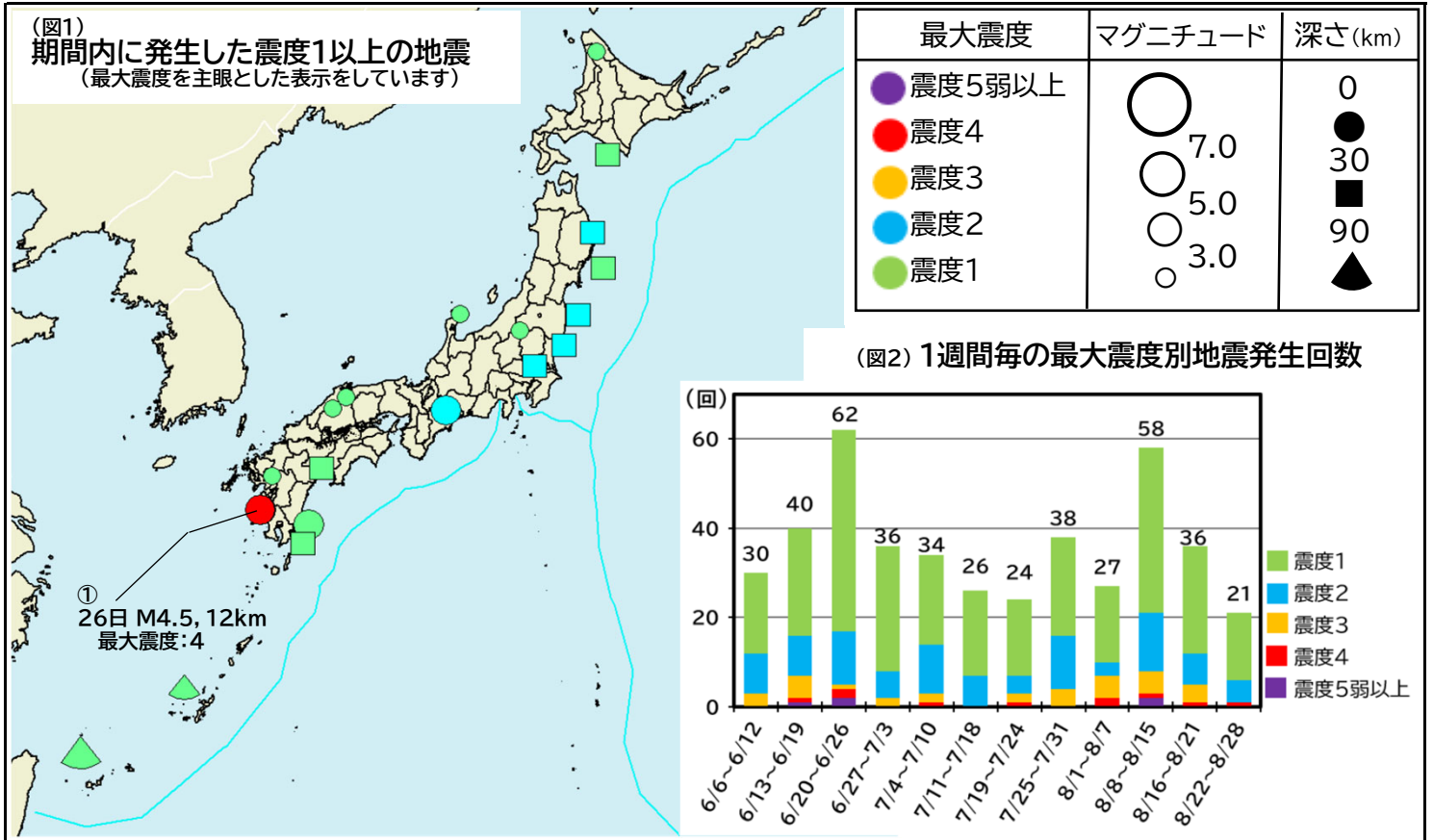


この期間の最大震度は4

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

■ この期間、震度1以上の地震が21回発生。最大震度は4。■
 この期間、最大震度3以上を観測した地震は1回で穏やかな期間でした。
 ①26日08時48分に天草灘で発生した地震(M4.5、深さ12km)により、鹿児島県長島町で震度4を観測したほか、福岡県から宮崎県にかけて震度3~1を観測(トピックス参照)。

トピックス

■ 天草灘の地震 ■

- ・26日08時48分M4.5(最大震度4)の後、同日08時56分にM3.3、17時29分にM3.4の地震が発生し、共に震度1を観測しました。
- ・今回の震源付近(図3の黄破線四角内)の1997年10月1日以降の活動を見ると、2006年2月4日にM5.1、2012年8月17日にM4.9、共に最大震度4を観測する地震が発生しており(図3)、M4クラスの地震は度々発生しています。
- ・26日の地震は地殻内で発生したのですが、メカニズム解は現時点で求まっていません。この地域で発生する地震のメカニズムは横ずれ型あるいは正断層型のメカニズム解で説明できる地形であることから、今回の地震も地殻内で発生した横ずれ型か正断層型の地震と推定されます。
- ・26日の地震を含む九州地方南部の地震発生状況を断面図で見ると、図4のように太平洋側のフィリピン海プレートが陸地側のユーラシアプレートの下に沈んでいる所で発生している地震と、陸地側のユーラシアプレート内部で発生している地震の分布が見えます。
- ・このようにして、今回の震源付近では陸地側のプレート内部に負荷がかかることで、地震を引き起こすものと考えられます。

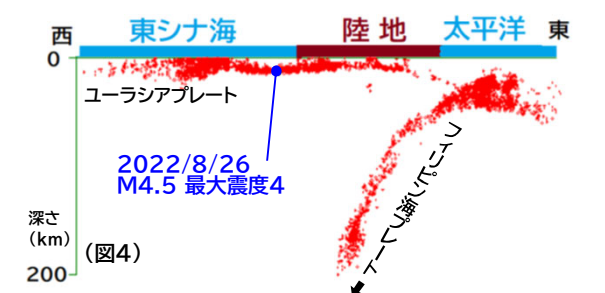


図3(上):1997年10月1日~2022年8月28日に発生した地震
 M≥2.0 深さ≤60km ×:26日の地震

図4(下):九州地方南部の地震発生状況を震源の深さ方向に示した図(断面図)